



すぎ 杉っ子

令和6年10月10日 発行
学校だより 第6号
射水市立小杉小学校
Tel 0766-55-1055
E-mail kosugi-e@imizu.ed.jp

「非認知能力」を高めよう

校長 杉 高 浩

人間の能力は、大きく「認知能力」と「非認知能力」の2種類に分けられます。

「認知能力」とは、点数などで数値化できる記憶力や思考力等に代表される知的能力のことです。一方「非認知能力」とは、認知能力以外の能力を広く示す言葉で、テスト等で数値化することが難しい内面的なスキルを指します。意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力等々がそれに当たります。

小学校で2020年(令和2年)より完全実施されている新学習指導要領では、資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「見えにくい学力」「学びに向かう力・人間性等」(見えない学力)の3つの柱から整理しています。この3つの柱のうちの「学びに向かう力・人間性等」が非認知能力に当たるものです。

学習指導要領が示す三つの資質能力		
認知能力	① 知識・技能	何を理解しているか 何ができるか
	② 思考力・判断力・表現力等	理解していること できることをどう活用するか
非認知能力	③ 学びに向かう力、人間性等	どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか

出典:寺子屋朝日

非認知能力が注目されている理由の1つに、非認知能力と認知能力の相関性があります。非認知能力が高いと認知能力も高まるということが、いくつかの研究で示されています。文部科学省が実施している全国学力・学習状況調査でも、**学習意欲が高い子の方が、学力が高い(平均正答率が高い)傾向にある**ことが報告されています。このような結果から、非認知能力は認知能力にも影響すると考えられているのです。

この非認知能力というものは、大人になってからも高めることは可能ですが、脳が柔軟で、急速に発達する幼児期(乳児期以後、満6歳の学齢に達するまでの時期)に高める方が効果的と言われています。幼少期にある小杉小学校の子供たちには以下の2点を重点的に取り組むことによって非認知能力を高めていき、ひいては子供たちの「生きる力」を高めていきたいと思えます。

1 「子供の興味関心を引き出す環境をつくる」

子供たちは知識詰め込み型の授業ばかりでは、探究心は育ちません。子供たちが主体的かつ対話的なアクティブラーニングを多く取り入れることによって、自分自身の興味・関心に気付き、目の前の問いを考える思考や周囲との対話のプロセスを介することで、非認知能力の向上を目指します。

2 「子供が成功したら褒め、失敗しても責めない」

子供たちは成功だけから学ぶものではありません。失敗したことを責めたり、成功することだけに着目してしまったりすると、子供たちの自由な発想による学びや失敗から得られる経験が少なくなってしまう。学校では、児童が自由な発想に基づき、成功や失敗を経験し、学びを深める過程の中で非認知能力の向上を目指します。

非認知能力を高める最も大切な条件は、乳幼児期から**大人に愛されて無条件に受け入れられる**という経験をもつことです。親からの絶対的な愛情を感じることで、心の安定につながり、自分の感情をコントロールできることにつながります。各ご家庭でも会話や読み聞かせ、触れ合いを通してスキンシップを大切にしてお子さんの非認知能力を高めていきましょう。



5年生 稲刈り体験

5月21日(火)にJA いみず野、ファーム戸破、学校運営協議会の方々と田植えをした田んぼの稲が実り、9月12日(木)に地域の皆さんからご指導を受け、秋空の下で5年生が稲刈りを行いました。まだ暑い日ではありましたが、稲の持ち方や鎌での切り方を直接教えてもらいながら、みんなで稲を刈りました。

実際に自分たちで稲刈りをする事で、米作りの大変さに気づき、おいしいご飯を毎日食べられることに感謝していました。



6年生 カニ給食

10月8日(火)に本校の6年生が新湊漁業協同組合から提供されたベニズワイガニを一人一杯を食べる、カニ給食が行われました。

全国的にも珍しいこのカニ給食は、地元の子供たちにふるさとの特産物であるベニズワイガニを食べさせてあげたいと、新湊漁業協同組合の発案で2003年度から旧新湊市の小学校(8校)を対象に始まったものです。そして、2005年の市町村合併後には射水市内すべての小学校(15校)に拡大。子供たちが地域の自然や食文化に関する理解を深める機会になっています。また、特色のある給食として県内外に情報発信することで、ベニズワイガニと射水市の知名度アップを狙いつつ、地産地消を推進している射水市の事業です。



今年度、市内で最初のカニ給食実施校ということで、会食を始める前に、夏野市長さん、金谷教育長さん、新湊漁業協同組合の塩谷組合長さん、中野参事さんを迎え、セレモニーを行いました。セレモニーの後、新湊漁協女性部の方から甲羅の外し方や身の抜き取り方の説明を聞き、ケーブルテレビをはじめ、多くのマスコミの取材する中、少々緊張しながら、みんなお盆からはみ出るくらい大きなズワイガニを食べました。

このカニ給食の体験を通して、子供たちは、ふるさとへの誇りと食材に対する感謝の気持ちをさらに強くしたことと思います。



引き続き「学校応援ボランティア」を募集しています

今年度の4月よりスタートしましたコミュニティ・スクール。学校運営協議会、学校支援コーディネーターの方々のご協力によりしっかり小杉小学校のサポートをしていただいております。ご都合のよい時間に、できることで結構ですので、できるだけ多くの方々に“学校応援ボランティア”に登録いただけると助かります。ご協力いただける方、是非右のQRコードもしくは下段のURL等で申し込みをお願いします。(電話での申し込みでも大丈夫です)



<https://forms.office.com/r/9R3YLZY3p>